平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月8日

上場会社名　株式会社ブリヂストン　　上場取引所　東 大 名 福
コード番号　5108　URL　http://www.bridgestone.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役 CEO 兼 取締役会長　(氏名) 津谷 正明
問合せ先責任者 (役職名) 資金部長　(氏名) 中村 賢史　TEL 03-3563-6985

四半期報告書提出予定日　平成25年5月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	794,583	9.4	74,451	18.1	70,149	13.6	43,111	2.2
24年12月期第1四半期	726,245	3.1	63,016	12.8	61,739	9.8	42,203	34.7

(注)包括利益　25年12月期第1四半期　152,151百万円　(7.5%)　24年12月期第1四半期　141,547百万円　(97.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	55.08	55.03
24年12月期第1四半期	53.92	53.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	3,232,436	1,555,187	46.5
24年12月期	3,039,798	1,417,347	45.2

(参考) 自己資本　25年12月期第1四半期　1,504,693百万円　24年12月期　1,373,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	16.00	―	16.00	32.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		27.00	―	27.00	54.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,690,000	13.5	182,000	36.0	170,000	31.8	105,000	39.5	134.13
通期	3,550,000	16.8	382,000	33.6	365,000	28.1	235,000	36.9	300.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2及び第10条の5に該当するものとなります。詳細は添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	813,102,321 株	24年12月期	813,102,321 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	30,269,583 株	24年12月期	30,440,507 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	782,715,140 株	24年12月期1Q	782,661,060 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書 …… 8
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

① 業績全般

	当第１四半期連結累計期間	前第１四半期連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	７，９４５	７，２６２	＋６８３	＋９
営業利益	７４４	６３０	＋１１４	＋１８
経常利益	７０１	６１７	＋８４	＋１４
四半期純利益	４３１	４２２	＋９	＋２

当第１四半期の当社グループを取り巻く環境は、為替は円高の是正が急速に進行する中、国内においては、景気は持ち直しの動きが見られました。海外においては、景気は全体として弱い回復が続いており、米国では回復傾向が見られますが、欧州では厳しい状況が続き、財政や金融不安の影響による実体経済の悪化が見られました。また、アジアでは、中国やインドにおいて景気の拡大テンポに鈍化傾向が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「タイヤ会社・ゴム会社として名実共に世界一の地位の確立」、それも他社の追随を許さない「断トツ」の達成に向け、グローバルで高い競争力を持つ商品の拡販や供給能力の増強、生産性の向上、技術優位性の強化、そして経営資源の効率的活用などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、事業環境の変化がかつてない速さで進行する中、市場の需要動向への迅速な対応を進めると共に、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大、環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第１四半期の売上高は7,945億円（前年同期比９％増）となり、営業利益は744億円（前年同期比18％増）、経常利益は701億円（前年同期比14％増）、四半期純利益は431億円（前年同期比２％増）となりました。

② セグメント別業績

		当第１四半期連結累計期間	前第１四半期連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	億円 ６，７５３	億円 ６，０２５	億円 ＋７２８	% ＋１２
	営業利益	６７９	５７０	＋１０９	＋１９
多角化部門	売上高	１，２２４	１，２７９	△５５	△４
	営業利益	６４	６０	＋４	＋７
連結 合計	売上高	７，９４５	７，２６２	＋６８３	＋９
	営業利益	７４４	６３０	＋１１４	＋１８

タイヤ部門では、国内外市場において魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、新車用が減少した影響により前年同期を下回りました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、新車用が減少した影響が大きく前年同期を大幅に下回りました。米州では、北米タイヤ事業において、乗用車及び小型トラック用タイヤ、並びにトラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を上回り順調に推移しました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、新車用が減少した影響により前年同期を下回りました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が増加した影響により前年同期を上回り好調に推移しました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、新車用が増加した影響により前年同期を上回り好調に推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響により前年同期を下回りました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は前年同期を上回り好調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を著しく上回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用ラジアルタイヤの販売量は前年同期を上回り堅調に推移しました。

この結果、売上高は6,753億円(前年同期比12%増)となり、営業利益は679億円(前年同期比19%増)となりました。

また、多角化部門では、売上高は国内事業における販売が減少した影響により1,224億円(前年同期比４%減)となりましたが、営業利益は64億円(前年同期比７%増)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

（資産の部）

資産の部は、現金及び預金が96億円減少したものの、商品及び製品が375億円、有形固定資産が600億円、投資有価証券が428億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,926億円増加し、32,324億円となりました。

（負債の部）

負債の部は、未払金が335億円減少したものの、支払手形及び買掛金が329億円、短期借入金が366億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ547億円増加し、16,772億円となりました。

（純資産の部）

純資産の部は、配当金の支払いにより125億円減少したものの、四半期純利益の計上431億円、その他有価証券評価差額金が346億円、為替換算調整勘定が746億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,378億円増加し、15,551億円となりました。その結果、自己資本比率は46.5％となり、前連結会計年度末に比べ1.3ポイントの増加となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

前回発表時(2013年２月18日)の予想を変更しておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

ＩＡＳ第19号「従業員給付」(2011年６月16日改訂)が、2013年１月１日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当第１四半期連結会計期間より、一部の在外会社において当該会計基準を適用し、数理計算上の差異、過去勤務費用及び利息費用他の認識方法並びに表示方法の変更等を行っております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

国内会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、2013年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2013年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	226,162	216,464
受取手形及び売掛金	444,669	456,357
有価証券	124,010	130,645
商品及び製品	321,012	358,577
仕掛品	34,524	38,029
原材料及び貯蔵品	165,188	171,469
その他	168,520	184,535
貸倒引当金	△8,074	△8,013
流動資産合計	1,476,013	1,548,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	352,194	371,792
機械装置及び運搬具（純額）	376,232	393,698
その他（純額）	390,509	413,477
有形固定資産合計	1,118,936	1,178,968
無形固定資産	34,118	37,756
投資その他の資産		
投資有価証券	228,214	271,067
その他	187,583	201,927
貸倒引当金	△5,067	△5,347
投資その他の資産合計	410,730	467,647
固定資産合計	1,563,785	1,684,372
資産合計	3,039,798	3,232,436

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2013年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	168,568	201,476
短期借入金	182,821	219,446
コマーシャル・ペーパー	40,435	36,762
1年内償還予定の社債	60,972	61,453
リース債務	864	934
未払法人税等	55,827	38,346
未払金	149,543	115,956
その他	231,072	228,974
流動負債合計	890,105	903,349
固定負債		
社債	63,121	63,385
長期借入金	262,330	271,731
リース債務	9,546	10,236
退職給付引当金	302,794	318,088
その他	94,552	110,456
固定負債合計	732,345	773,899
負債合計	1,622,450	1,677,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,630	122,764
利益剰余金	1,428,747	1,459,336
自己株式	△57,247	△56,926
株主資本合計	1,620,484	1,651,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,439	168,080
繰延ヘッジ損益	△948	△857
為替換算調整勘定	△246,190	△171,533
在外会社の退職給付債務等調整額	△133,763	△142,524
その他の包括利益累計額合計	△247,462	△146,834
新株予約権	1,099	1,059
少数株主持分	43,226	49,435
純資産合計	1,417,347	1,555,187
負債純資産合計	3,039,798	3,232,436

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2012年１月１日 至　2012年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2013年１月１日 至　2013年３月31日）
売上高	726,245	794,583
売上原価	485,884	524,585
売上総利益	240,360	269,998
販売費及び一般管理費		
販売運賃	31,127	34,498
広告宣伝費及び販売促進費	19,318	22,928
給料手当及び賞与	48,566	52,986
退職給付費用	3,801	4,634
減価償却費	5,652	6,649
研究開発費	19,980	21,112
その他	48,897	52,736
販売費及び一般管理費合計	177,344	195,546
営業利益	63,016	74,451
営業外収益		
受取利息	744	1,307
受取配当金	115	184
為替差益	995	－
雑収入	5,229	4,724
営業外収益合計	7,084	6,216
営業外費用		
支払利息	4,516	3,877
為替差損	－	3,768
雑損失	3,844	2,871
営業外費用合計	8,360	10,518
経常利益	61,739	70,149
税金等調整前四半期純利益	61,739	70,149
法人税等	17,839	23,369
少数株主損益調整前四半期純利益	43,900	46,779
少数株主利益	1,696	3,668
四半期純利益	42,203	43,111

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2012年１月１日 至　2012年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2013年１月１日 至　2013年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	43,900	46,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,791	34,640
繰延ヘッジ損益	△669	19
為替換算調整勘定	54,873	78,602
在外会社の退職給付債務等調整額	△4,439	△8,771
持分法適用会社に対する持分相当額	1,091	881
その他の包括利益合計	97,647	105,371
四半期包括利益	141,547	152,151
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,438	143,739
少数株主に係る四半期包括利益	4,108	8,411

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 2012年１月１日 至 2012年３月31日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	タイヤ	多角化	計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	601,534	124,711	726,245	―	726,245
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,040	3,212	4,252	△4,252	―
計	602,574	127,923	730,498	△4,252	726,245
セグメント利益(営業利益)	57,001	6,086	63,087	△71	63,016

（注）セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 2013年１月１日 至 2013年３月31日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	タイヤ	多角化	計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	674,690	119,893	794,583	―	794,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	698	2,523	3,222	△3,222	―
計	675,388	122,417	797,806	△3,222	794,583
セグメント利益(営業利益)	67,937	6,493	74,431	20	74,451

（注）セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。